

荒川区立図書館と街なか商店塾（まちゼミ）の連携

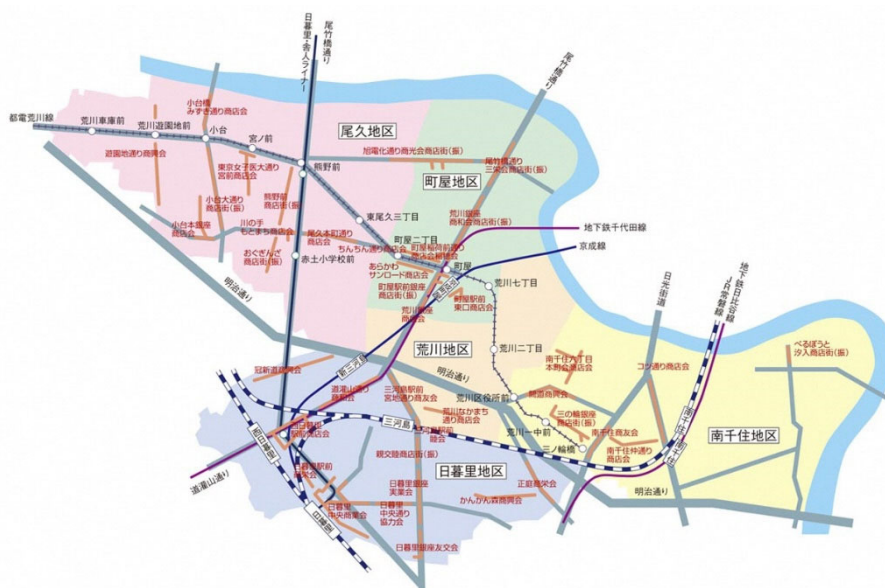
和歌崎 真由

荒川区立中央図書館ゆいの森あらかわ

1. 荒川区内の商店街

荒川区には 39 の商店街がある。2013 年 1 月に荒川区で開始された「街なか商店塾」は当時、東京 23 区の中で初めて実施された「まちゼミ」ということもあり、多くの注目を集め TV などでも紹介され、2020 年で 14 回目を迎えた。これまで荒川区が主催・運営を行っていたが、2019 年より運営を荒川区中小企業経営協会に委託し、店主や参加者の意見がより反映された運営を目指すため、「荒川まちゼミ実行委員会」が設立された。実行委員会は、「荒川に住む人にとって望ましいこと」を合言葉に、店主・地域団体・荒川区中小企業経営協会の 3 者から有志を募り構成されている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、リアルな「まちゼミ」は出来なかったが、各店舗の動画を制作し、「まちゼミ」を盛り上げる取り組みをしている。

しかし、シャッターが下りたままの商店も多い。原因としては大型スーパーの存在や高齢化、また新型コロナウイルス感染症の影響も考えられる。



荒川区商店街連合会・加盟商店会一覧

2. 荒川区立図書館について

荒川区立図書館は中央館機能のある複合施設ゆいの森あらかわをはじめ、それぞれの地区ごとに南千住図書館、尾久図書館、町屋図書館、日暮里図書館、そして実用書や児童書メインに所蔵している小規模な汐入図書サービスステーション、冠新道図書サービスステーションがある。特に、サービスステーションの 2 館は街なか商店塾に参加しているべるぼう

と汐入、冠新道商興会の中に位置している。ビジネス支援コーナーのあるゆいの森あらかわでは、税務相談といった専門員の相談会も毎週開催している。

3. 現状と課題

図書館と商店街はそれぞれの地区で身近な場所にあるにもかかわらず、双方の連携はなく、図書館内での街なか商店塾の周知もチラシ配布のみとなっている。現在、荒川区立図書館で行なっている保健所等の他施設で開催する事業の多くは、児童サービス向けのものであり、一般利用者に向けられた図書館主体となつての開催実績は、音訳ボランティアの養成やマネープラン等、講師を招いての講習会となっている。ビジネス支援としてのブックリストやパスファインダーの作成はしているが、外部向けは経営支援課主催のセミナーでの配布のみとなっている。

4. まちゼミの取り組み

まちゼミとは、店主やお店のスタッフが自分の店舗を会場にして、商品の由来や製造方法の説明、健康・美容・食育等、プロならではの知識や日頃興味を持っているテーマを紹介する受講者参加型のミニ講座を開催することにより、お店やひとの存在・特徴を知りコミュニケーションの場から信頼関係を築くことを目的としている。2003年1月に岡崎市の商店街が始めたのを発祥とし、今では、日本全国350以上の地域で行われている。

まちゼミの魅力は参加者にだけでなく店主側にもあり、新規事業の可能性を探ることもできる。また、店舗同士のコミュニケーションも生まれ、岡崎市のまちゼミに初回から参加している眼鏡屋では、ブティック店と「パーソナルカラーdeメガネ選び」、化粧品店とは「眼鏡とメイク」といったように、他店舗とのコラボ講座の開催も実現している。講座終了後は、礼状を出す、ニュースレターやSNSでイベント告知をする等のアフターフォローを多彩にすることで、受講者が再び店を訪れやすくなる効果が望める。

4-1. 他自治体の図書館としてのまちゼミ支援

日野市立図書館では、講座内容のジャンルごとに関し、開催店舗ごとにブックリストを作成している。初歩的なものから専門的なことまでわかる資料を揃え、また館内のインターネットを使って最新の情報の確認が出来るよう案内している。調布市立図書館では、講師となる店舗向けにリンパケアやキムチについて等、まちゼミの講座内容に沿った資料リストを作成し提供している。また、中央図書館では支援図書リストに掲載している資料のミニ展示も行っている。



日野市立図書館ホームページのまちゼミ講座（本のリスト）

5. 事業計画

5-1. 街なか商店塾の参加店舗への支援

街なか商店塾に参加する店舗向けに、ブックリストを作成する。第14回の参加店舗数は19店舗で講座内容は108回あった。ジャンルごとに分かれているので、日野市のように作成することも可能と考える。

講座番号	タイトル	開催日	地域	カテゴリ
1	心の強さ体験	7/28 (日)	荒川	健康
2	高橋・平倉各問題の対応法を学びましょう	9/1 (日)、9/1 (日)、9/1 (日)、9/1 (日)、9/1 (日)	荒川	学芸
4	「ニコニコ舞の総引」ワークショップ	7/27 (土)、8/10 (土)、8/24 (土)、9/14 (土)	荒川	作楽
5	アロマティックハンドケア体験	7/22 (木)、8/7 (木)、8/17 (土)、8/29 (木)、9/8 (日)、9/8 (日)	荒川	キレイ
6	リットアップ！ヘアケア/ハンドケア体験	7/28 (日)、8/11 (日)、8/11 (日)、8/26 (日)、8/31 (土)、8/31 (土)、9/12 (木)	荒川	キレイ
7	アロマティックハンドケア体験	8/14 (木)、8/14 (木)、9/8 (日)、9/8 (日)	西日暮里	学芸
8	二軒屋にあわせて楽しもう！	8/19 (月)、8/26 (月)	西日暮里	学芸
9	深らる舞踊！寺楽の楽楽楽楽	8/7 (木)	西日暮里	学芸
10	楽しく歌謡！ストップ！！歌謡教室！	8/6 (火)	西日暮里	学芸
11	誰でも楽しめる和楽器の楽楽・楽楽の楽	7/28 (日)、8/18 (日)	西日暮里	健康
12	いっしょに楽器に触ってみよう！	7/24 (木)、7/31 (木)、8/3 (土)、7/31 (木)、8/28 (木)、9/4 (木)	西日暮里	学芸

街なか商店塾店舗一覧

講座終了時に参加者が復習やスキルアップが出来るよう、ブックリストを配布してもらう。同時に、図書館内での配布と図書館ホームページにも掲載する。受講内容が詳細にわかる告知にもなり、講座受講前の予習として図書館で資料を作成してもらうこともできる。店主・参加者が双方に知識を深めることで、次回の講座開催の開催や継続的な参加につないでいく。



街なか商店塾マップ

5-2. 図書館内での商店街周知

各地区に街なか商店塾に参加している商店街がある。関連事業として、それぞれの図書館で商店街の紹介をする。図書館の来館者は既に利用しているかもしれないが、商店街で買い物をしない客層もいると考え、街なか商店塾の紹介だけではなく、図書館から近い範囲でどんな商店街があるか展示で紹介をする。それに合わせてそれぞれの地区の地域資料の特集コーナー展開も行い、利用者だけではなく職員に対しても、身近な場所の知識を深める機会の提供をする。

5-3. 商店街での図書館周知

街なか商店塾の事業に図書館も参加する。板橋区立氷川図書館で行われたまちゼミの参加で、ポップ作成、装備体験、出張おはなし会を開催している。氷川図書館の事業を参考に開催を検討する。対象を子どもと限定するのではなく、幅広い世代に体験してもらいたいと考える。学校事業の職場体験では、子どもたちに装備の体験やポップ作成をってもらうが、大人向けの開催を荒川区立図書館ではほぼ行っていない。蔵書点検といった休館日のあまり知られていない業務内容を、写真を用いての展示を検討する。おはなし会やブックトークも子ども向けではなく、一般利用者向けに開催することで“大人の目線”で図書館の魅力を感じてもらい、司書の仕事を知ってもらうきっかけづくりとする。図書館内での開催ではなく商店街で開催することによって、司書は地域の様子を実際に見ることができる。



氷川図書館ホームページ まちゼミチラシ

5-4. 荒川区の商店支援事業の周知および、商店街への出店希望者の支援

荒川区では産業及び観光振興施策として、商店街の魅力ある店舗の創出等の支援や複数の商店街の連携を促進するための支援を行い、区民生活の拠点およびコミュニティの核となる商店街の再生を目指す支援「商店街ルネッサンス推進事業」を行っている。

事業内容は

- ①商店街空き店舗活用推進事業…商店街の空き店舗を交流施設、チャレンジショップ等の多目的スペースとして活用する際の費用の一部を補助し、商店街のにぎわいの創出を図る。
- ②魅力ある店舗創出支援事業…商店街の集客力の向上を図るため、商店街の核となる店舗づくりに取り組む中小小売業者等に対して、店舗改装等の経費の一部を補助するとともに、アドバイザーの派遣を行い、魅力ある店舗の創出を支援する。(店舗改装 [補助率] 2分の1 [限度額] 100万円)
- ③商店街連携支援事業…複数の商店街が連携して年度内に複数回行うイベント事業に対して補助を行う。
- ④街なか商店塾事業…店主自身が直接お客様に自店の特徴や商品に関する専門知識をPRする「街なか商店塾」を開催する個店を、区報等による広報や専門家の派遣等によって支援する。
- ⑤らく楽商店街モデル事業…商店街事務所・会館等を活用して、宅配サービスの実施・休憩所の設置・地域住民の交流の場の提供・観光情報や区政情報の発信を行う。

である。この事業の周知をすることで、『商店街』というブランドが持っている力をアピールし、今ある店舗の活性化を促す。図書館での商店街支援を通して、荒川区内での出店を検

討している人に向けて関係部署へスムーズにつないでいくことを最終目標とする。

6. 終わりに

荒川区は23区内でも下町といわれる地域で、昔ながらの街並みや商店街が多く残っている。私自身も子供のころから商店街で買い物をし、今もお店の人と世間話をするのは日常生活の一部だ。年々高齢化で店を続けられなくなり、閉店する店舗が増えていてさみしい思いもしている。事前課題のなかでまちゼミについての調査があり、荒川区立図書館での支援も可能なのではないかと気づいた。ビジネス支援というものを難しく考えていたのだと反省することもできた。身近なところから支援を行うことで、区が力を入れている事業承継や就職支援につなげていくことが出来るようにしたい。図書館の中だけでビジネス支援は完結できるものではなく、関係部署と連携をして、利用者の求めるものを最大限に支援できる体制を整えたい。

カウンターで対応していると「大人になって図書館を初めて利用した」という声もたくさんいただく。講義の中でもあったように、図書館から外に出てアピールをすることでビジネス支援だけではなく、区立図書館の利用者を増やすことができれば、サービスの質の向上にもつながり、区民サービスをより良いものにしていくことが出来ると思う。

【参考文献】

『商業界』2019年10月号

松井洋一郎『まちゼミ さあ、商いを楽しもう!』 2017年

[街なか商店塾 まちゼミ in あらかわ \(arakawa-machizemi.com\)](http://arakawa-machizemi.com)

[荒川区商店街連合会／公式ホームページ／indexPage \(j-passage.com\)](http://j-passage.com/indexPage)

["まちゼミ" の情報公開ホームページ、岡崎まちゼミの会 \(machizemi.org\)](http://machizemi.org)

[まちゼミ 支援図書リスト - 調布市立図書館 \(city.chofu.tokyo.jp\)](http://city.chofu.tokyo.jp)

[図書館まちゼミ | 日野市立図書館 \(hino.lg.jp\)](http://hino.lg.jp)

[【予告】大山ハッピーゼミのお知らせ | 板橋区立氷川図書館 \(itabashi-hikawa-lib.jp\)](http://itabashi-hikawa-lib.jp)

[久留米まちゼミ図書館 特設ブース | 第6回久留米まちゼミ公式サイト - 久留米街元気プロジェクト \(kurume-machigenki.net\)](http://kurume-machigenki.net)

[令和2年度荒川区産業及び観光振興施策の概要／荒川区公式サイト \(city.arakawa.tokyo.jp\)](http://city.arakawa.tokyo.jp)